

令和5年度 学校評価報告

草加市立新里小学校

(令和6年2月2日作成)

1 学校教育目標	
かしこく（知） なかよく（徳） たくましく（体）	
2 重点目標・努力目標	3 前年度の成果と課題
<ul style="list-style-type: none"> ・学力の向上 ～教員の授業力の向上～ 「わかる、できる学び とともに楽しい学び」 ・豊かな心と規律ある態度の育成 ～今日も楽しい学校 明日も楽しみな学校～ ・健康教育の推進 ・地域とともにある学校づくり ・働き方改革の一層の推進 	<p>成果○児童生徒の自己肯定感・自己有用感の向上を目指した校内研修により、教員の授業力が向上した。</p> <p>課題●基礎学力の定着、基礎的な生活習慣の育成、不登校児童対策、学校・家庭・地域の連携</p>

4 評価表 ※評価基準 [A:十分達成している B:おおむね達成している C:やや不十分である D:不十分である]				
領域	評価項目	評価の観点	評価	成果と課題 ○成果 ●課題
I 学校運営に関するもの	①組織運営	<ul style="list-style-type: none"> ・学校経営目標、方針 ・校務分掌組織 ・適所への適材配置 ・職員会議等の運営 ・予算の執行・決算、監査等 	A	<ul style="list-style-type: none"> ○本年度の重点目標の具現化に向けて、教職員が学校運営参画意識を持って具体的な方策を立て、取り組んだ。 ○各種会議の運営適正化を目指し、ペーパーレス化を進めた。
	②研究・研修	<ul style="list-style-type: none"> ・研究組織、計画、実施 ・校内研修の推進 ・授業改善への取組 ・校外研修会への参加 ・人材育成 	A	<ul style="list-style-type: none"> ○草加市教育委員会研究委嘱の自己肯定感・自己有用感を育む授業づくりに関わる研究を通して、授業力を向上させることができた。 ●若手教員とミドルリーダーのさらなる育成
	③保健管理・安全管理	<ul style="list-style-type: none"> ・保健計画、安全計画 ・環境衛生の管理 ・健康観察、安全点検 ・緊急事態発生時の対応 ・危機管理マニュアルの作成・活用 	B	<ul style="list-style-type: none"> ○危機管理マニュアルの見直しを行い、全教職員で共通理解のもと、学校の安全管理体制を再整備することができた。
	④情報管理・施設設備管理	<ul style="list-style-type: none"> ・個人情報の管理、保護 ・施設設備の管理と有効利用 	A	<ul style="list-style-type: none"> ○個人情報の保護に関する校内規定を見直すとともに、倫理確立委員会を核とした研修会を実施し、情報管理の徹底を行った。 ○不要な備品や教材の精査を行い、管理のしやすい環境整備を行った。
	⑤地域との連携 開かれた学校	<ul style="list-style-type: none"> ・学校情報の発信 ・学校公開の実施 ・学校運営協議会の推進 ・地域、校種間連携 ・PTA活動の活性化 	A	<ul style="list-style-type: none"> ○学校公開やPTAふれあいまつり、学校運営協議会、安心・安全会議等を定期的の実施し、保護者・地域との積極的な交流を進めた。
	⑥幼保小中を一貫した教育	<ul style="list-style-type: none"> ・目指す子ども像の共有 ・15年間を通じたカリキュラムの編成 ・一貫教育推進のための組織づくり 	A	<ul style="list-style-type: none"> ○両新田中学校区としての目指す子ども像を共有し、研究発表会に向けた取組を通じて一貫教育を推進した。 ●更なる幼保小中一貫教育の推進

領域	評価項目	評価の観点	評価	成果と課題 ○成果 ●課題
II 教育活動に関するもの	①教育目標・教育計画	<ul style="list-style-type: none"> 15年間を通じたカリキュラムの編成、実施 教育計画の作成 教育活動の評価 目標、方針の周知 授業時数の配当、確保 	B	<ul style="list-style-type: none"> ○教育計画のもと、各教科・領域の授業時数の見直しを行い、教育活動の改善を行うことができた。 ●学力向上に向けた教育計画の見直し
	②教科指導	<ul style="list-style-type: none"> 指導計画の立案 主体的・対話的で深い学びの視点に立った授業改善 評価、評定の工夫 外部人材の活用 	A	<ul style="list-style-type: none"> ○研究発表会を通して、個別最適な学びと協働的な学びに視点を置いた授業改善を図ることができた。 ●学級経営を核とした更なる指導力・授業力向上
	③道徳教育	<ul style="list-style-type: none"> 全体計画の作成 各教科との関連 道徳的実践力の育成 家庭、地域社会との連携 いのちの教育の推進 	B	<ul style="list-style-type: none"> ○外部講師を招聘した授業研究会を通して、道徳授業の指導法・評価方法を共有し、日々の授業実践に生かすことができた。 ●道徳教育の家庭、地域への啓発、連携
	④外国語・外国語活動	<ul style="list-style-type: none"> 指導計画の立案 指導方法の工夫と改善 評価、評定の工夫 各教科、道徳教育との関連 中学校との連携 	B	<ul style="list-style-type: none"> ○ALTとの連携を充実させ、指導方法の工夫と改善を図った。 ●中学校との接続を意識した授業
	⑤特別活動	<ul style="list-style-type: none"> 指導計画の立案 学級活動、学級経営 学校行事 児童会活動 	B	<ul style="list-style-type: none"> ○計画的に異年齢集団との縦割り活動を実施し交流活動を行った。 ○各種学校行事が効果的に行われるよう精査をした上で実施した。 ●学級活動の充実
	⑥「総合的な学習の時間」の指導	<ul style="list-style-type: none"> 指導計画の立案 指導内容の充実 指導方法の工夫と改善 評価の工夫 地域の人材・物的資源の活用 	B	<ul style="list-style-type: none"> ○地域との交流や体験的活動を取り入れた学習を行うことができた。 ●年間指導計画の見直しと内容の精選
	⑦生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> 組織的な生徒指導 問題行動への対処 教育相談、児童理解 いじめ防止対策 保護者、地域、諸機関との連携 	A	<ul style="list-style-type: none"> ○生徒指導委員会や不登校対策委員会を中心に情報交換や事例研究を行うことで、教員の生徒指導・教育相談スキルが向上した。 ●新里小よい子のきまりの見直し
	⑧キャリア教育	<ul style="list-style-type: none"> 計画の立案 指導内容の充実 中学校との連携 啓発的経験の充実 家庭、地域との連携強化 	B	<ul style="list-style-type: none"> ○将来の夢や職業について、具体的なイメージを持つことができるよう学級活動を中心とした指導の充実を行った。 ●キャリアパスポートと関連付ける総合的な学習の時間の実践
	⑨特別支援教育	<ul style="list-style-type: none"> 個別の指導計画、支援計画 指導方法の工夫と改善 通常学級との交流 諸機関との連携 校内支援体制の整備 	B	<ul style="list-style-type: none"> ○草加かがやき特別支援学校や教育支援室と連携しながら、個に応じた学びの場や支援方法の工夫・改善を図った。 ○特別支援学級と通常学級の児童の交流の機会を充実させ、互いを尊重し合う大切さを学ぶ機会を確保した。
	⑩学校図書館教育	<ul style="list-style-type: none"> 指導計画、支援計画の作成 図書館補助員の活用 諸機関との連携 図書館の整備 図書館利用の工夫 	B	<ul style="list-style-type: none"> ○司書教諭や学校司書を核に、保護者や地域の図書ボランティアと協力して、児童が読書に親しめるように読書ビンゴや読み聞かせ等を行い、全学年の読書量の増加につながった。 ●第二図書室の蔵書の入れ替え等によるさらなる整備
⑪情報教育	<ul style="list-style-type: none"> 教育計画の作成 校内研修の充実 ICT機器の積極的な活用 情報モラル教育の推進 	A	<ul style="list-style-type: none"> ○副教務を中心とした校内研修や外部講師を招聘した研修会を通して、ICTの活用事例を共有したことで、各授業で積極的に活用することができた。 	

⑫人権教育	<ul style="list-style-type: none"> ・全体計画の策定 ・各教科との関連 ・人権感覚の育成 ・校内研修の充実 	B	<ul style="list-style-type: none"> ○校内研修や市の研修会を通して、教職員の人権感覚・人権意識が向上した。 ○校内人権教育週間において、全学級で人権教育に係る動画を視聴し、児童の人権感覚の育成を図ることができた。 ●人権感覚育成プログラムの計画的な実施
-------	--	---	--

(様式1・小学校用③)

草加市立新里小学校

領域	評価項目	評価の観点	評価	成果と課題 ○成果 ●課題
III 特色ある学校づくり	①学力向上	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎・基本の定着 ・「わかる、できる学びとともに楽しい授業」を目指した授業研究 ・指導力向上研修会 ・家庭学習の取組 	A	<ul style="list-style-type: none"> ○研究発表会に向けた校内研修の充実により、教員の授業力や意識が向上し、児童の自己肯定感・自己有用感の育成が図られたことで、児童の関心・意欲の向上と基礎基本の定着が見られた。 ●家庭学習の定着と充実
	②健康・体力向上	<ul style="list-style-type: none"> ・体育授業の充実と健康教育の推進 ・授業外の健康・体力の向上 ・健康指導と食育指導の充実 ・家庭・関係機関との連携 	B	<ul style="list-style-type: none"> ○運動会や持久走大会、市内陸上大会、なわとびチャレンジ等、体育的行事の実施により、児童の運動に取り組む意欲の高揚と体力向上に努めた。 ○外部講師を招聘した歯磨き指導や薬物乱用防止教室、を実施し、健康教育を推進した。 ○食育に関する掲示物の充実や栄養黒板の設置等により、児童の食に関する興味・関心を高めることができた。 ●授業外の体力向上（業前活動や休み時間等）の充実・運動量の確保
	③家庭・地域との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭との連携 ・学校応援団との連携 ・学校運営協議会との連携 ・地域人材の活用 	B	<ul style="list-style-type: none"> ○安心・安全応援団会議や学校運営協議会を開催し、学校・家庭・地域の課題を共有・検討し、学校経営に生かすことができた。 ○教育相談日を設定したり、スクールカウンセラーを活用したりして、保護者からの相談に対応することができた。

<p>5 総合評価（学校関係者評価を含む）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○教員の授業力の向上「わかる、できる、ともに楽しい学び」を目指した授業研究や研究発表会に向けた各種研修会を通して、教員が互いに学び合い高め合い、指導力・授業力向上を図ることができた。また、国語科における学力を伸ばした児童の割合が昨年度と比べて増えているなど、授業研究や研修会の成果がよい結果となって表れている。 ○問題行動や不登校に対して連絡・報告を迅速に行い、組織的に早期発見・早期対応につなげることができた。 ○人数制限を設けることなく学校公開や授業参観、PTAふれあいまつりを開催し、児童の学校生活の様子を保護者・地域へ積極的に発信することができた。 ○各種備品や書類を精査し、教育環境整備を行うことができた。
<p>6 次年度の改善策</p> <ul style="list-style-type: none"> ●各学力・学習状況調査の評価・分析を行い、課題を明確にした上で、改善策を検討し、児童一人ひとりの学力向上を実現していく。 ●校内研修、授業研究を通して、さらなる教員の学級経営力の向上を実現していく。 ●児童一人ひとりを大切に、新たな不登校児童を生まない居心地のよい学級づくりを実現する。